

# 建設水道常任委員会記録

令和4年11月25日(金)午後0時57分～午後1時10分(9階908会議室)

## ○出席委員(8名)

委員長	萩原 太郎
副委員長	斎藤 正臣
委員	佐々木 優
委員	二階堂 利枝
委員	後藤 善次
委員	梅津 政則
委員	大平 洋人
委員	二階堂 武文

## ○欠席委員(なし)

## ○案 件

所管事務調査「除雪に関する調査」

- 1 委員長報告について
- 2 その他

---

午後0時57分 開 議

(萩原太郎委員長) ただいまから建設水道常任委員会を開きます。

初めに、委員長報告についてを議題といたします。

前回お示ししました委員長報告案を基に、皆様からいただいたご意見を踏まえ、正副委員長手元で委員長報告の案を修正しました。

タブレットに修正後の案と前回からの変更点を見え消しにした案をお配りしております。初めに、修正内容についてのご説明をいたしますので、見え消しの案のほうをご覧ください。それでは、説明します。2ページの8から9行目でございます。修正前について、翌年2月にかけての大雪時は、例年より少し多い1日当たり最大降雪量25センチメートルでしたがというふうなところを、案のほうでは、文章を区切ってしまいますとバレンタイン豪雪との対比にならないように思いましたので、修正後として、翌年2月にかけての大雪では、例年より少し多い1日当たり最大降雪量25センチメートルでしたがというようなことではいかがというふうに思っております。

次、2ページの9から10行目でございます。令和3年度の降雪量はというふうなところでございま

すが、文章が長いため、令和3年度を削除しました。

続いて、11から12行目でございます。長期にわたり降り続いた年でありましたを長期にわたり降り続きましたと術語を整理しました。

①から③続けてみました。一方、令和3年12月下旬から翌年2月にかけての大雪では、例年より少し多い1日当たり最大降雪量25センチメートルでしたが、年間降雪量は202センチメートルを記録し、バレンタイン豪雪があった平成25年度の年間降雪量145センチメートルと比較しても長期にわたり降り続きました、このようにいたしました。

続いて、3ページの2行目については、当初自助公助というふうなことでしたが、自助共助へ修正いたしました。

3ページの10から12行目、本市の現状として、本年11月の福島市除雪対応マニュアル策定についての文章を追加いたしました。

続いて、13行目、除雪マニュアルについての文章を追加したことに伴い、重複を避けるため、接続詞をまたからさらにへ修正いたしました。

4ページに移ります。7行目になります。3行目の文頭がまたであり、重複を避けるため、7行目をまたからさらにへ修正いたしました。

5ページの9行目、デジタルサイネージをデジタル掲示板へ修正をしてみました。

5ページ14行目、安心安全を安全安心へ修正いたしました。

6ページになります。12から16行目、修正前ですと、各地区における自助、共助でできる部分と公助が必要な部分の洗い出しや雪寄せ場の確保、排雪運搬などについて話し合うことで、市民が自発的な除雪活動を行える環境を整備し、3者による連携を図るべきというところではございましたが、案として、各地区における自助、共助でできる部分と公助が必要な部分や雪寄せ場の確保、排雪運搬などについて情報共有することで、市民参加を含めた3者による連携が図られた除雪活動を行える環境を整備すべきというようなことに、もともとの一文が長かったため、文言を整理いたしました。除雪活動を行える環境を整備については、3者には市も含まれ、行う立場であることが見えにくいいため、修正後として、各地区における自助、共助の可能性と公助の必要性や雪寄せ場の確保、排雪運搬などについて情報共有することで、市民参加を含めた3者連携による除雪活動を促進する環境を整備すべきというふうなことで修正をいたしました。

続いて、18、19行目でございます。市民の自発的で継続可能な除雪環境整備のためにはというところで、自発的を削除、そして除雪環境という表現を修正し、前に述べました16行目と文言を統一して、市民参加による除雪活動を促進する環境整備のためにはというふうなことで、以上が前回からの修正点でございますが、修正後の委員長報告案に対して皆様のご意見をいただきたいと思っております。

つらつらと読んでしまいましたけれども、皆様、何かご意見ありますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) これでよろしいですか。

これでよろしいというふうなことでありますと、持ち帰りというふうなことでございますが、それでは……

(二階堂利枝委員) 誤字か何かの訂正の話ということですか。今ちょっと思ったのですけれども、6ページ、団体の条件が……

【「何行目」と呼ぶ者あり】

(二階堂利枝委員) 20行。20、21行目のところなのですけれども、条件が2以上のになっているではないですか。これ2つとか、そういうふうにしたほうがいいのではないのかなと。2団体とか。2以上のというとなんか違うかなと思ったのですけれども、そんなことはないですか。

(萩原太郎委員長) では、皆様からのご意見をお伺いしましょう。

(二階堂利枝委員) 条件が2以上って何か分かりづらいような。

(萩原太郎委員長) これについてはいかがですか。

(二階堂利枝委員) 気にならないのだったらいいです。

(梅津政則委員) これは、上からつなげるのではなくて、2以上の隣接町内会であることというふうに読めばいいのではないですか。条件がで切って、2以上の隣接町内会であることやという意味なので、おかしくはない。

(後藤善次委員) 2つ以上というのを2以上と言うこともあるかな。

(萩原太郎委員長) 報告書については往々にしてこういう書き方をされる場合が多いものですから、条例とか、2以上とか、そういうふうな、2つとか3つとか、3町会とか、そういうことでなくて、2以上というので通常言っているのです。

(二階堂利枝委員) そうすると、受入れ団体の数の条件がとか2以上とならないと、この団体の条件が2以上となると、何かこの2の条件ってそもそも何なのだろうという、2という基準が分からなくなる。

(後藤善次委員) 町内会の数ではないの。

(萩原太郎委員長) 後ろに続くので、2以上の隣接町内会ということで、条件が2つという意味ではなくて、2つ以上の隣接町内会ということに続くのですけれども。

(二階堂利枝委員) 2件とか、何かここでこの2が何の数字を意味しているのかがあったほうがと思ったのですけれども、違うのかな。いや、いいです。すみません。

(梅津政則委員) これは、単位をつければ2団体以上のとなるのだけれども、それは上に借受け団体のとなっているから、なくても通じると思うのだけれども。

(佐々木優委員) 今の項、分かりにくいというのは、私もああ、そういえば分かりにくいなというふうに感じたのですが、団体が先に出てしまっているから、団体と重なるのであれば、借受けの条件が2団体以上の隣接町内会というふうになるとより読んで分かりやすくないかなと思うのですが、どう

でしょうか。

(梅津政則委員) いや、主語は団体に対する条件だから、頭に団体が来ないとおかしくなってしまう。

(後藤善次委員) 条件としてはとかにする、がを。そうすると一回切れるのではない。2つの町内会。がだから、そういうふうにも取れるので。

(佐々木優委員) 条件は2以上の。

(萩原太郎委員長) 借受けの条件は。

(斎藤正臣委員) 条件としてはのほうが……

(佐々木優委員) そうだね。としてはになると。

(梅津政則委員) これはここで受け入れるための条件としてこうするのではなくて、課題としてうたっているやつだから、このままのほうがいいと思います。

(佐々木優委員) 必要があると言っているからということか。

(梅津政則委員) 2つ以上になっているとか、運搬、返却まで自分たちで行う必要があるからということなので、受けるためにこの条件だということを強調する必要はない。

(二階堂利枝委員) これはその説明だからということだね。

(萩原太郎委員長) よろしいですか。

(二階堂利枝委員) すみません。

(萩原太郎委員長) いろんな疑問を持っていただくのはいいと思います。

ほかによろしいですか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) それでは、ただいまの委員長報告案につきまして各会派内での調整をお願いいたします。

そういたしまして、次回の委員会において会派内調整の結果を各会派ごとにご報告いただくことでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) それでは、そのようにさせていただきます。

次に、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

(梅津政則委員) この調査が終わったら任期中全部何もなしという考えですか。今ここで言う話なのかどうかあれですけども。

(萩原太郎委員長) 皆様からこれはというような調査項目がなければ、今のところ予定してはおりません。

(梅津政則委員) 調査とか現地確認、現地調査とか、そういうのも何も一切なしにするということですか。所管事務調査でテーマ設定する、しないは一つの項目であって。

(齋藤正臣委員) 何か前に現地調査の話がありましたよね。ごみ捨てのね。時期は時期ですけれども。

(萩原太郎委員長) 雪が降ったときに例えば維持補修センターの検証をするとか、何かそういう部分について皆様からご意見をいただければ、その際に皆様で協議したいと思いますけれども。

(梅津政則委員) では、その都度気がついたときということで、打切りではなくて。

(萩原太郎委員長) はい、そうですね、これから。

それでは、ご意見ありがとうございました。

以上で建設水道常任委員会を終了いたします。

午後1時10分 散 会

建設水道常任委員長

萩 原 太 郎